

活動情報

取組項目 生物の生息状況の把握・地域住民等との交流活動

組織名 竹原環境保全会

芳賀 管内

茂木 町

活動目的：水路や田んぼ周りにおける生物調査を通して、地域や生物への関心を深めると共に、当地区の環境を永続的に保全していこうとする意識の醸成を図る。

活動内容：水路とその周りの田での生物調査

H21年8月23日(日)に、「竹原郷づくり協議会」(棚田オーナー)、宇都宮大学生物研究会の学生の参加の下、生物調査を実施しました。

アドバイザーとして、宇都宮大学の香川准教授・西尾准教授の指導を仰ぎ、昨年引き続き、オーナー親子の方々と一緒に棚田周辺を調査しました。

たくさんのカワムツやサワガニを見ることができ、元気に動く生き物に子供たちだけでなく、保護者も喜んでいました。保護者の方は、「昔はこんな生物たくさん捕ったね」と、懐かしんで調査をしていました。

毎年たくさんのホタルが乱舞する地区ということで、多数のカワニナが見られたことは、改めてこの地区の自然の豊かさを実感しました。

アドバイザーのもとには、参加者が生物を捕るたびに、「これは何?」と、楽しそうにメモをとったり、写真を撮ったりしていました。

アドバイザーの講評では、「川の現在のきれいな水を守っていくことは、ほんとうに大変であるが、地元のみならず、ここに関わる全ての人がこの水(を含めた自然景観)を守っていくことが大切であります」とお話をいただいた。

調査の後には、地元特産のブルーベリーを使ったジャムをかけた「かき氷」が振る舞われ、参加者はそれぞれに生物調査の話で盛り上がりました。



生物調査のようす



たくさんのカワムツが捕れました。



サワガニもたくさんいました。



クロアゲハも飛んでいました。